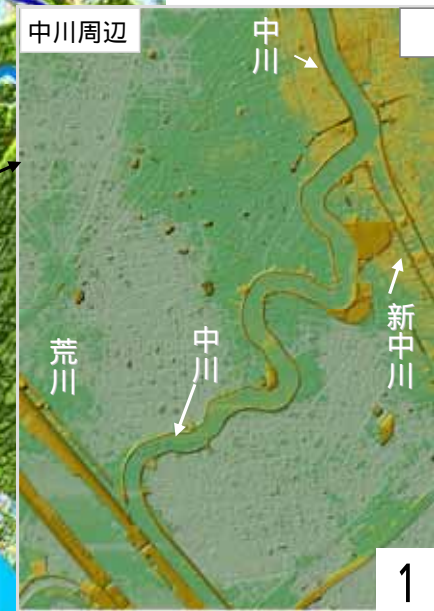
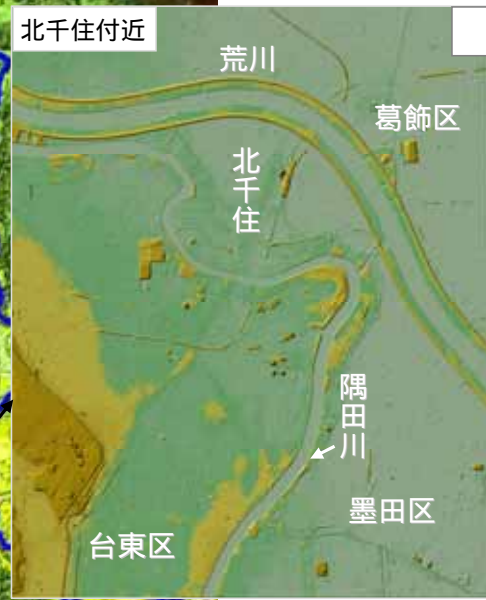
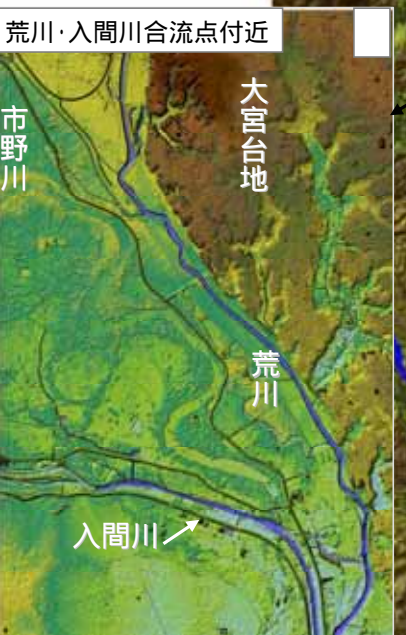
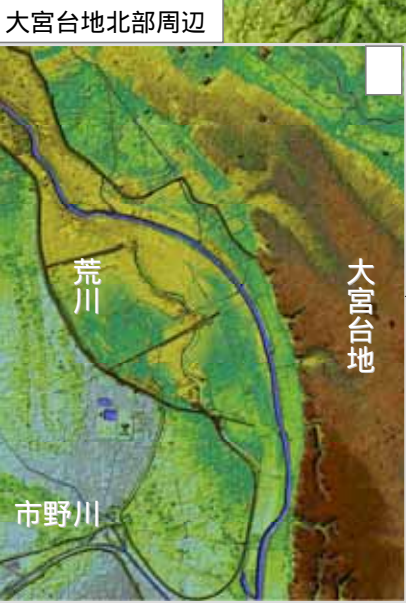
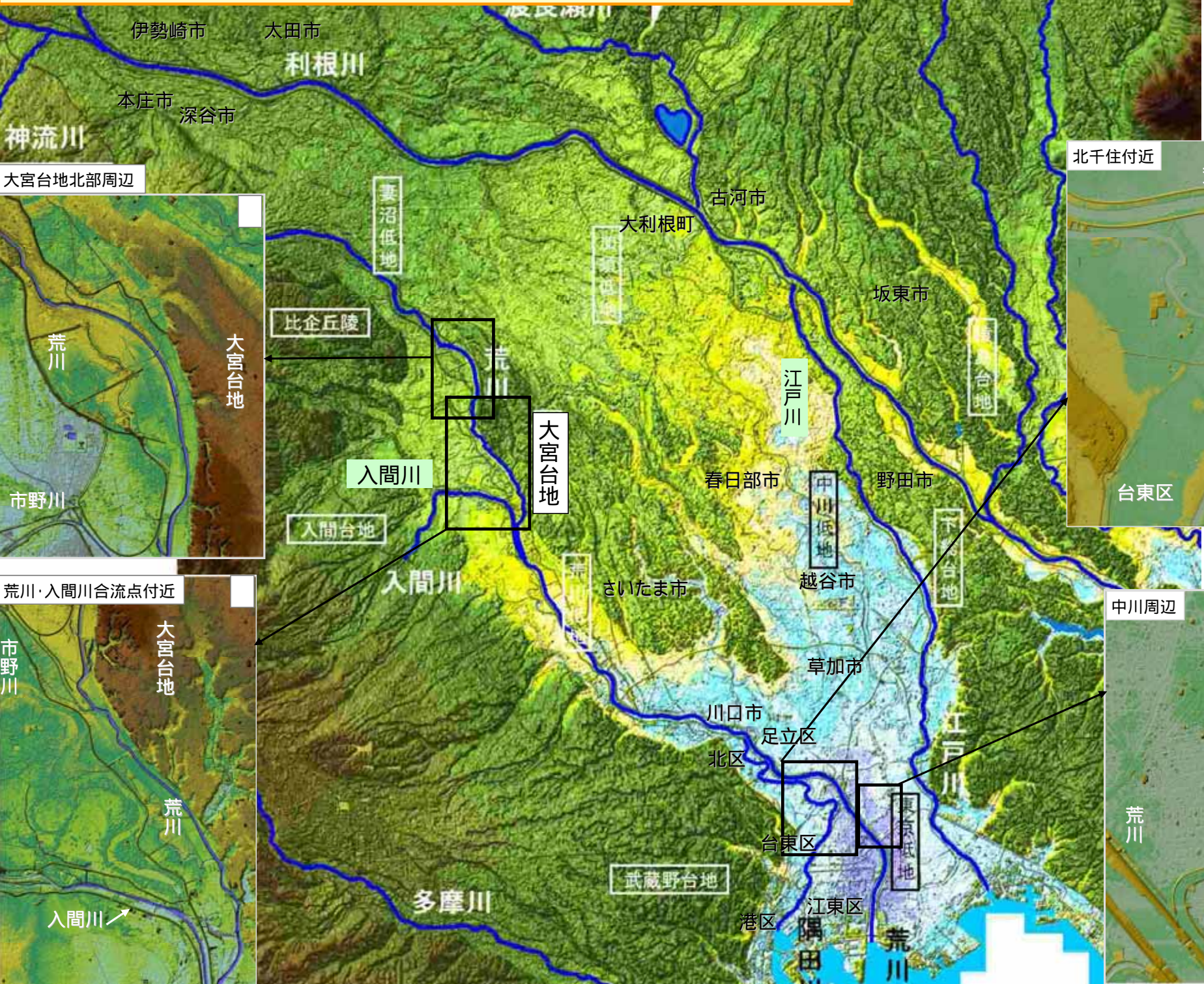


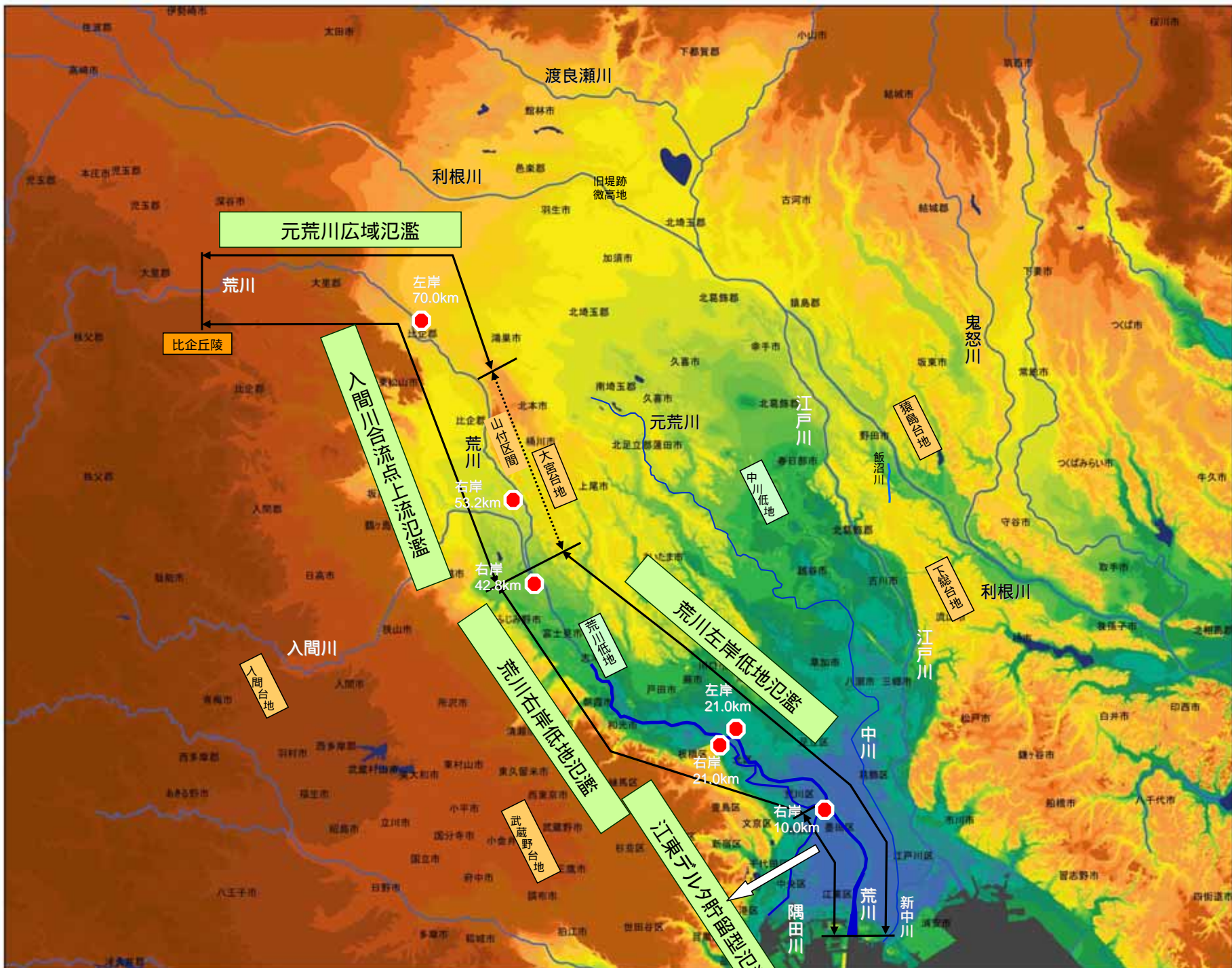
# 荒川浸水想定の種類区分

平成19年10月23日

内閣府 防災担当

# 荒川流域の氾濫原地形(レーザープロファイラ測量)





**標高値 (m)**

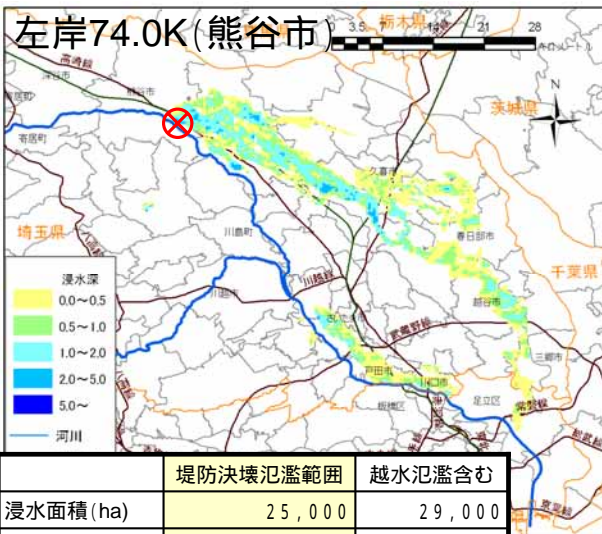
80m以上
70m~80m
60m~70m
50m~60m
40m~50m
30m~40m
25m~30m
20m~25m
18m~20m
16m~18m
14m~16m
12m~14m
10m~12m
8m~10m
6m~8m
4m~6m
2m~4m
0m以下
河川
海抜

地形データ  
 1 数値地図50mメッシュ(標高)日本式を用い、メッシュサイズ : 50m  
 2 標高値の単位 : m  
 3 標高値の基準 : 東京湾平均海面(T.P)  
 地名データ  
 1 市・郡名を基準  
 2 50万分の1地方図から主な河川を転写  
 3 20万分の1地形図から転写

# 元荒川広域氾濫：左岸64.0～74.0km

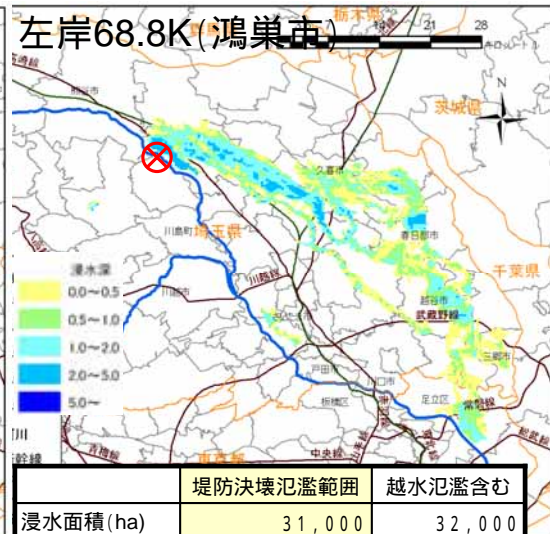
(200年に1回の確率の洪水流量の発生時の浸水想定)

- 大宮台地より上流の区間。
- 大宮台地の東側の元荒川に沿っては氾濫し、都区部まで達する場合がある。

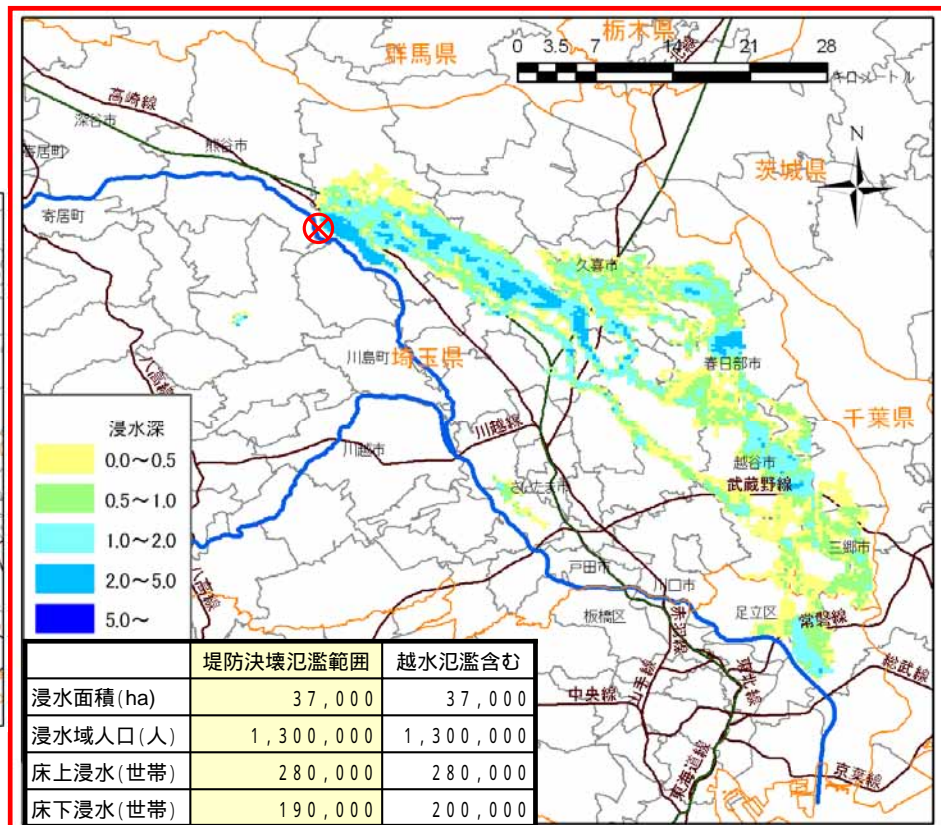


	堤防決壊氾濫範囲	越水氾濫含む
浸水面積 (ha)	25,000	29,000
浸水域人口 (人)	620,000	960,000
床上浸水 (世帯)	83,000	140,000
床下浸水 (世帯)	130,000	210,000

堤防決壊氾濫範囲：堤防決壊による氾濫の影響を受ける範囲

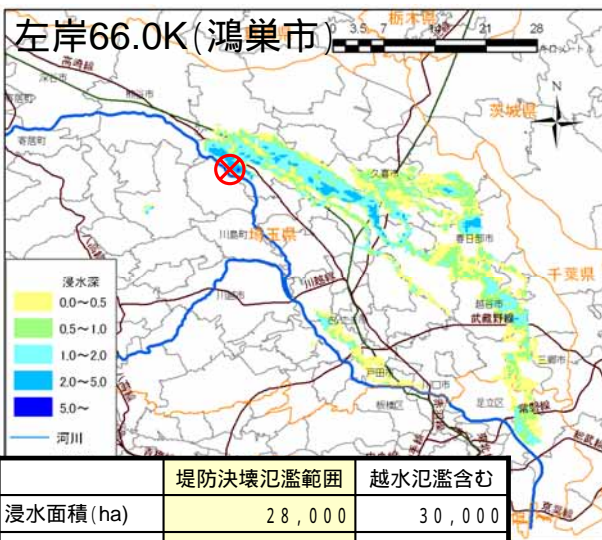


	堤防決壊氾濫範囲	越水氾濫含む
浸水面積 (ha)	31,000	32,000
浸水域人口 (人)	1,000,000	1,100,000
床上浸水 (世帯)	220,000	220,000
床下浸水 (世帯)	160,000	170,000

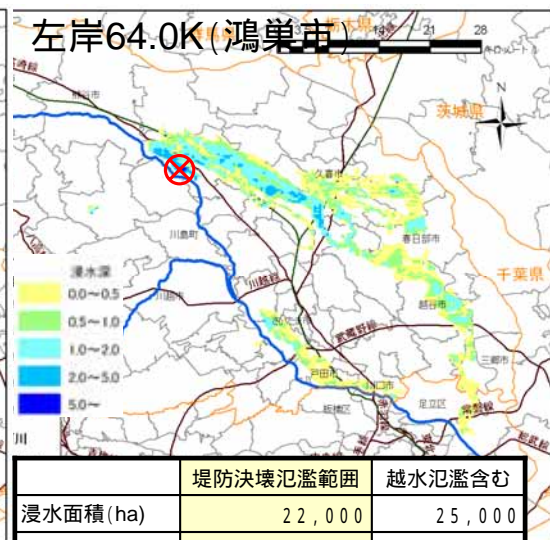


	堤防決壊氾濫範囲	越水氾濫含む
浸水面積 (ha)	37,000	37,000
浸水域人口 (人)	1,300,000	1,300,000
床上浸水 (世帯)	280,000	280,000
床下浸水 (世帯)	190,000	200,000

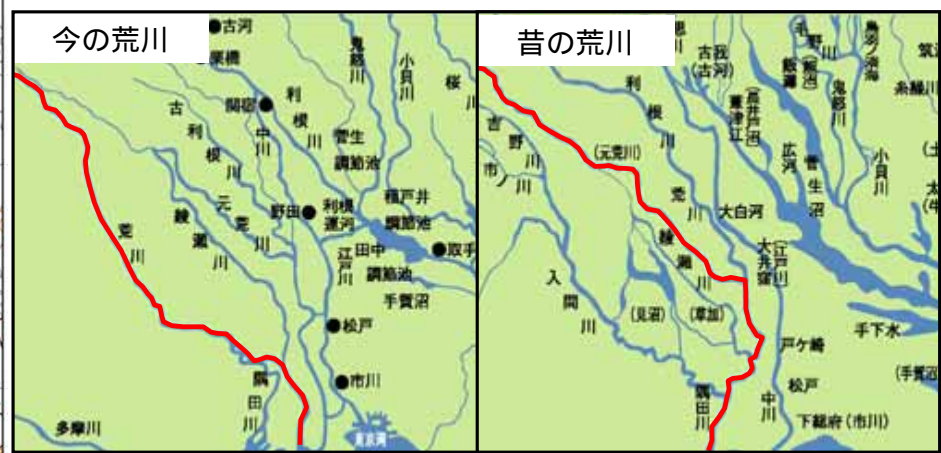
氾濫開始流量が小さい箇所、破堤氾濫開始水位と破堤敷高の比高が大きい箇所、重要水防箇所などから5地点の堤防決壊箇所を設定。その浸水面積及び浸水域人口が最大となる浸水想定を選択。



	堤防決壊氾濫範囲	越水氾濫含む
浸水面積 (ha)	28,000	30,000
浸水域人口 (人)	890,000	1,000,000
床上浸水 (世帯)	190,000	200,000
床下浸水 (世帯)	140,000	180,000



	堤防決壊氾濫範囲	越水氾濫含む
浸水面積 (ha)	22,000	25,000
浸水域人口 (人)	600,000	840,000
床上浸水 (世帯)	84,000	110,000
床下浸水 (世帯)	130,000	200,000



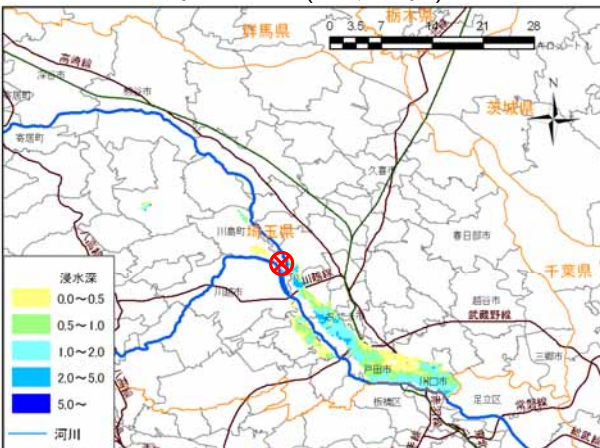
注)  
 ・中小河川の堤防がはん濫水等によって決壊しない場合の計算結果を示した。  
 ・中小河川の堤防は、モデル上、連続した壁状の構造物とした。  
 ・中小河川の流域からの出水等も考えられることから、大河川のはん濫水については中小河川の河道を通じた排水を評価していない。  
 ・東京都区部、埼玉県東南部の地盤高は数値地図5mメッシュ(国土地理院)、その他の地域は、1/2,500国土基本図(各市区町村)を用いて設定

# 荒川左岸低地氾濫：左岸河口～49.0km

(200年に1回の確率の洪水流量の発生時の浸水想定)

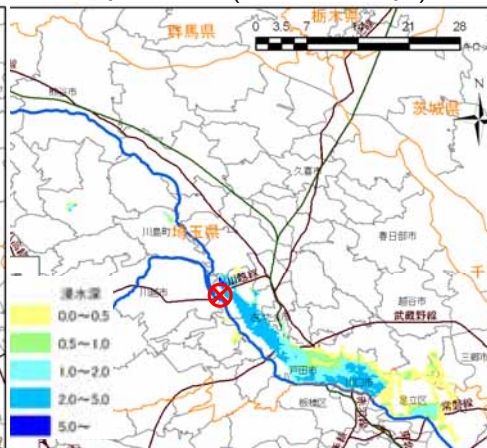
- 大宮台地より下流の区間。
- 荒川左岸の低地部に沿っては氾濫。
- 中小河川の堤防を境として、上流側では深く浸水し、下流側では浸水しない場合がある。

## 左岸48.8K(上尾市)



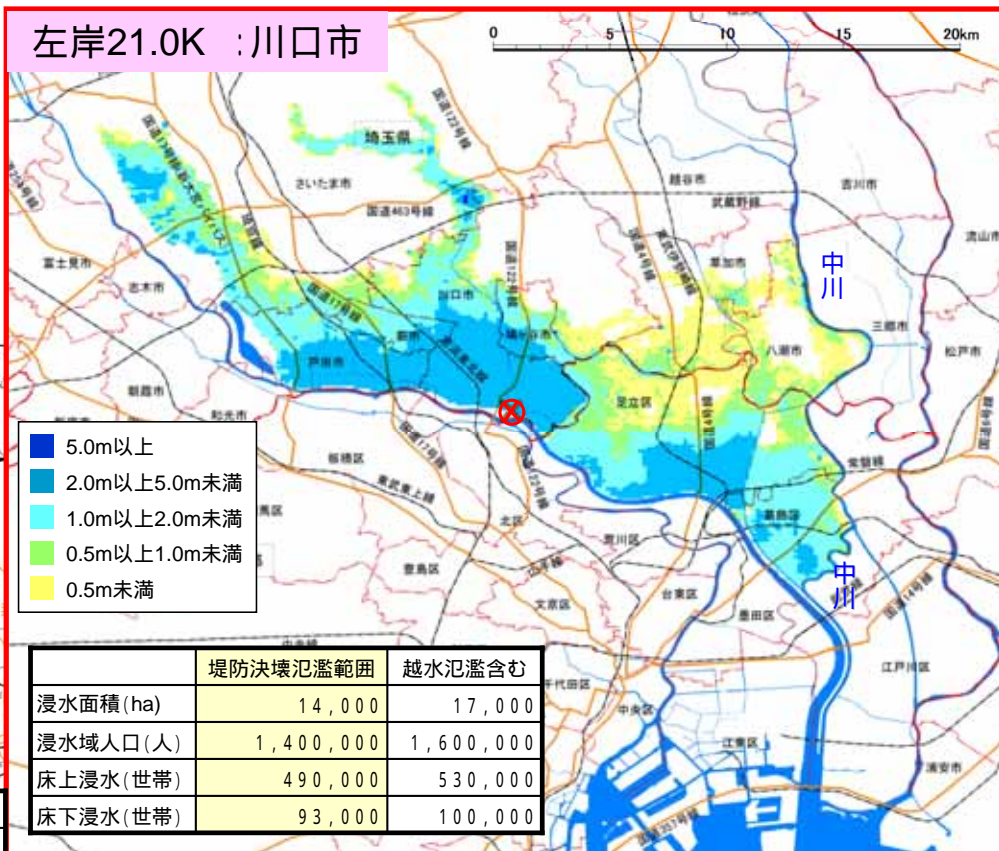
	堤防決壊氾濫範囲	越水氾濫含む
浸水面積 (ha)	2,200	7,600
浸水域人口 (人)	210,000	600,000
床上浸水 (世帯)	73,000	170,000
床下浸水 (世帯)	12,000	73,000

## 左岸45.6K(さいたま市)



	堤防決壊氾濫範囲	越水氾濫含む
浸水面積 (ha)	11,000	12,000
浸水域人口 (人)	1,100,000	1,100,000
床上浸水 (世帯)	310,000	310,000
床下浸水 (世帯)	150,000	150,000

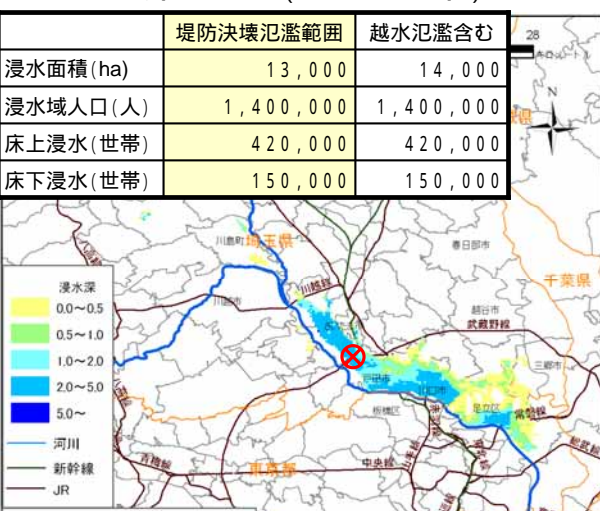
## 左岸21.0K :川口市



	堤防決壊氾濫範囲	越水氾濫含む
浸水面積 (ha)	14,000	17,000
浸水域人口 (人)	1,400,000	1,600,000
床上浸水 (世帯)	490,000	530,000
床下浸水 (世帯)	93,000	100,000

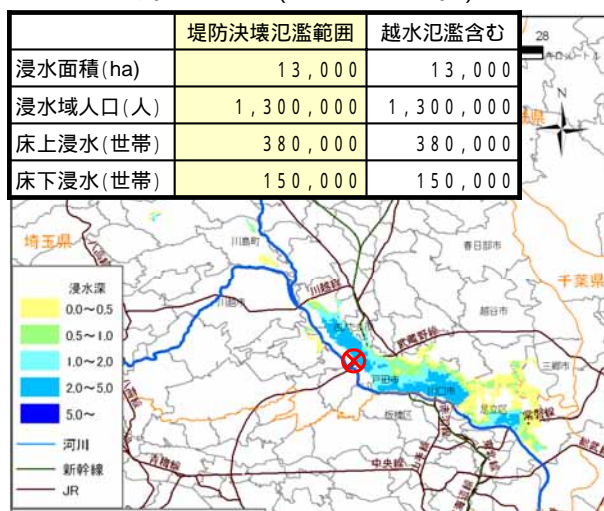
氾濫開始流量が小さい箇所、破堤氾濫開始水位と破堤敷数の比高が大きい箇所、重要水防箇所などから4地点の堤防決壊箇所を設定(48.8K～37.2K)。下流区間については堤防が概ね完成していることから、浸水域人口が大きくなることが想定される2地点の堤防決壊箇所を設定。その内、浸水面積及び浸水域人口が最大となる浸水想定を選択。

## 左岸39.2K(さいたま市)



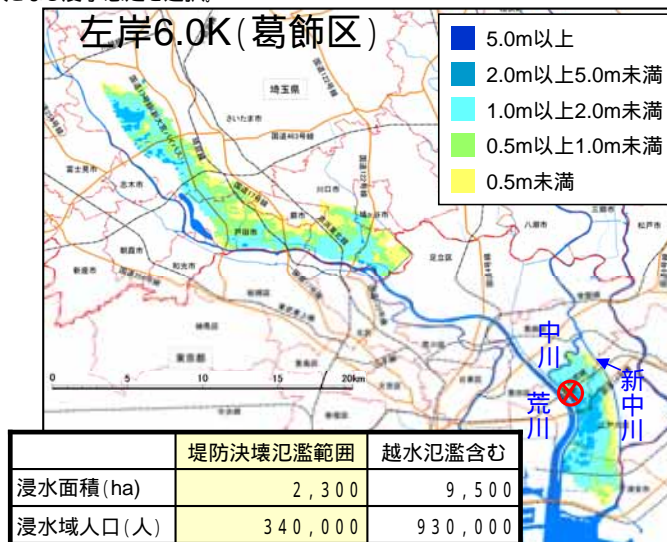
	堤防決壊氾濫範囲	越水氾濫含む
浸水面積 (ha)	13,000	14,000
浸水域人口 (人)	1,400,000	1,400,000
床上浸水 (世帯)	420,000	420,000
床下浸水 (世帯)	150,000	150,000

## 左岸37.2K(さいたま市)



	堤防決壊氾濫範囲	越水氾濫含む
浸水面積 (ha)	13,000	13,000
浸水域人口 (人)	1,300,000	1,300,000
床上浸水 (世帯)	380,000	380,000
床下浸水 (世帯)	150,000	150,000

## 左岸6.0K(葛飾区)



	堤防決壊氾濫範囲	越水氾濫含む
浸水面積 (ha)	2,300	9,500
浸水域人口 (人)	340,000	930,000
床上浸水 (世帯)	140,000	300,000
床下浸水 (世帯)	13,000	83,000

注)  
 ・中小河川の堤防がはん濫水等によって決壊しない場合の計算結果を示した。  
 ・中小河川の堤防は、モデル上、連続した壁状の構造物とした。  
 ・中小河川の流域からの出水等も考えられることから、大河川のはん濫水については中小河川の河道を通じた排水を評価していない。  
 ・東京都区部、埼玉県東南部の地盤高は数値地図5mメッシュ(国土地理院)、その他の地域は、1/2,500国土基本図(各市区町村)を用いて設定

# 入間川合流点上流氾濫：右岸50.0～84.0km

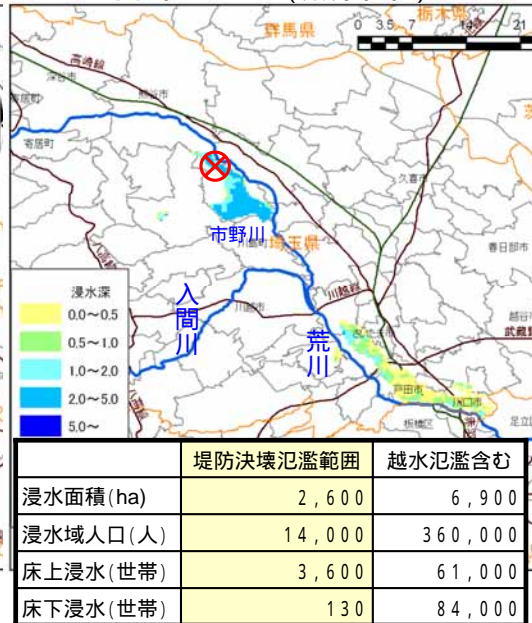
(200年に1回の確率の洪水流量の発生時の浸水想定)

- 入間川合流点より上流の区間。
- 入間川、市野川等の堤防により、堤防決壊箇所からのはん濫域の拡大が止まる。

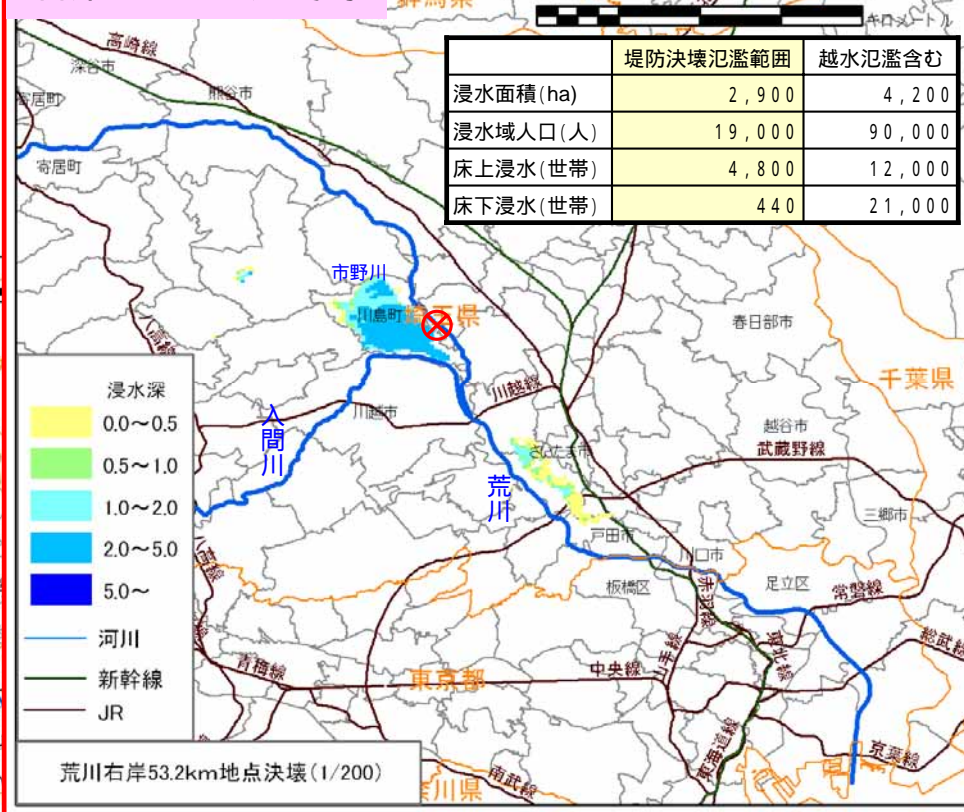
## 右岸74.0K(熊谷市)



## 右岸69.2K(熊谷市)



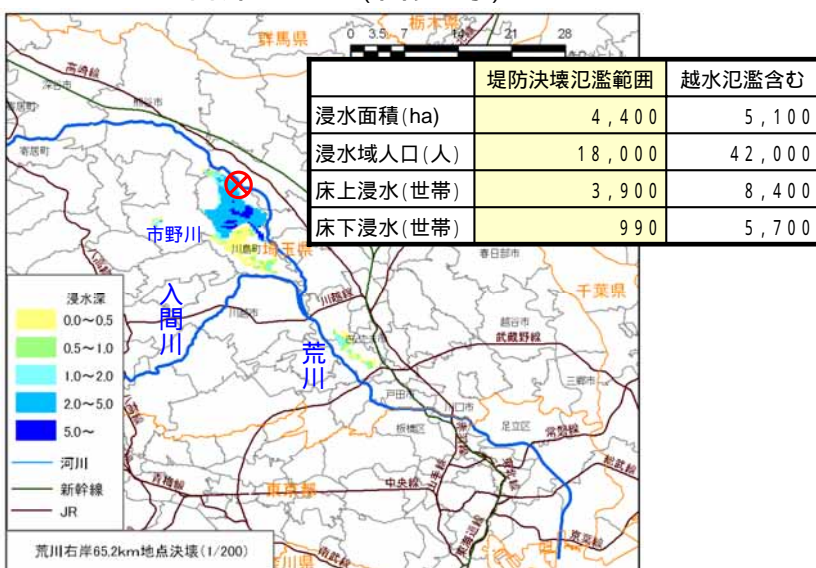
## 右岸53.2K : 川島町



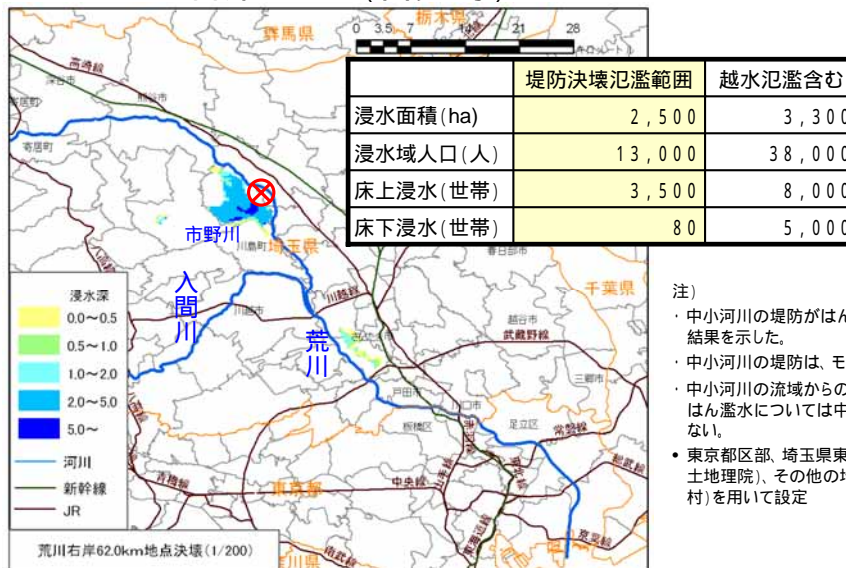
氾濫開始流量が小さい箇所、破堤氾濫開始水位と破堤敷高の比高が大きい箇所、重要水防箇所などから5地点の堤防決壊箇所を設定。堤防決壊による氾濫影響範囲の浸水域人口が最大となる浸水想定を選択。

堤防決壊氾濫範囲：堤防決壊による氾濫の影響を受ける範囲

## 右岸65.2K(吉見町)



## 右岸62.0K(吉見町)



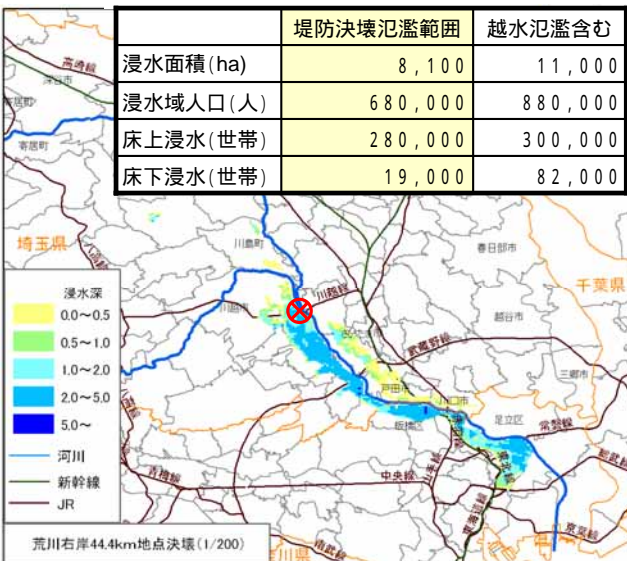
- 注)
- 中小河川の堤防がはん濫水等によって決壊しない場合の計算結果を示した。
  - 中小河川の堤防は、モデル上、連続した壁状の構造物とした。
  - 中小河川の流域からの出水等も考えられることから、大河川のはん濫水については中小河川の河道を通じた排水を評価していない。
  - 東京都区部、埼玉県東南部の地盤高は数値地図5mメッシュ(国土地理院)、その他の地域は、1/2,500国土基本図(各市区町村)を用いて設定

# 荒川右岸低地氾濫：右岸12.5～44.4km

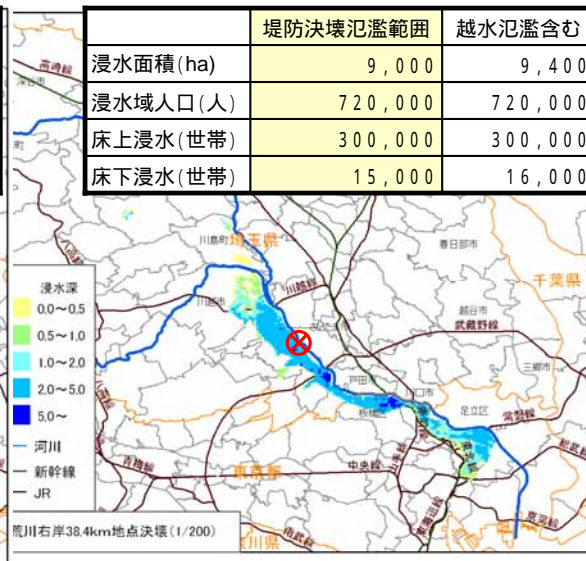
(200年に1回の確率の洪水流量の発生時の浸水想定)

- ・入間川合流点から江東デルタまでの区間。
- ・丸の内や新橋付近まで浸水する可能性がある。

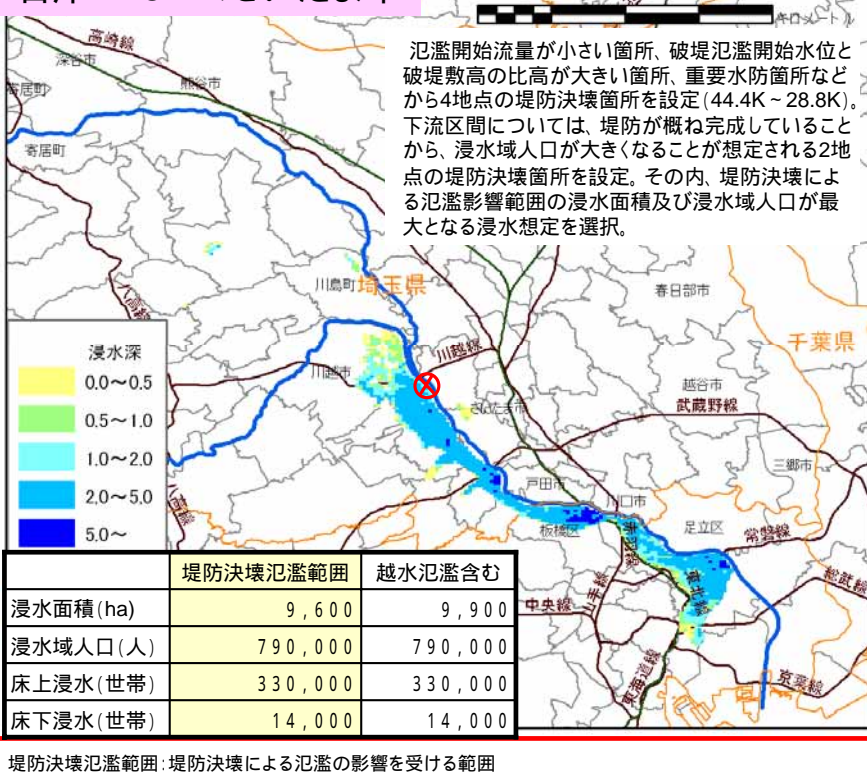
## 右岸44.4K(川越市)



## 右岸38.4K(富士見市)

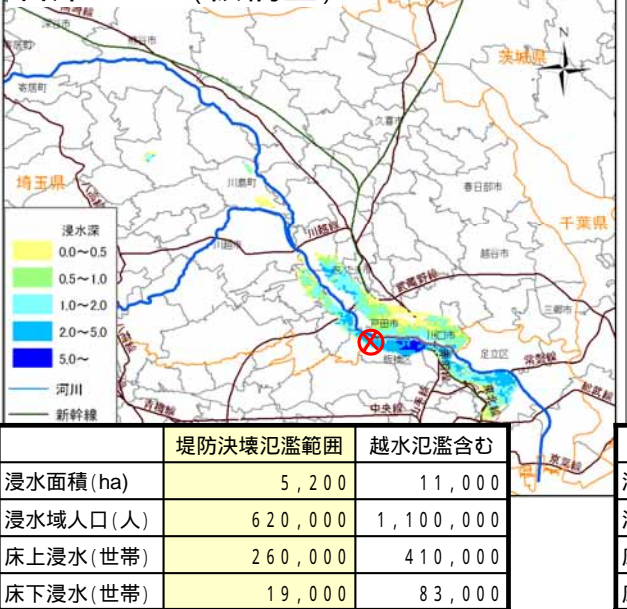


## 右岸42.8K :さいたま市

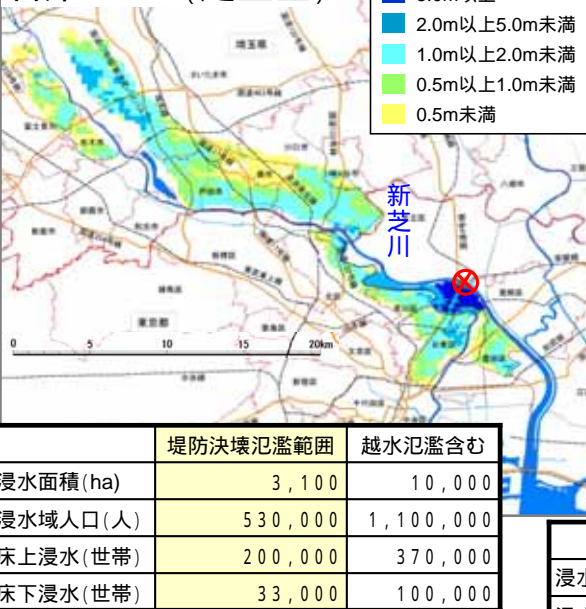


堤防決壊氾濫範囲：堤防決壊による氾濫の影響を受ける範囲

## 右岸28.8K(板橋区)



## 右岸12.5K(足立区)



## 右岸21.0K:北区(都心部が浸水)



注)・中小河川の堤防は氾濫水等によって決壊しない場合の計算結果を示した。  
 ・中小河川の堤防は、モデル上、連続した壁状の構造物とした。  
 ・中小河川の流域からの出水等も考えられることから、大河川のはん濫水については中小河川の河道を通じた排水を評価していない。  
 ・東京都区部、埼玉県東南部の地盤高は数値地図5mメッシュ(国土地理院)、その他の地域は、1/2,500国土基本図(各市区町村)を用いて設定

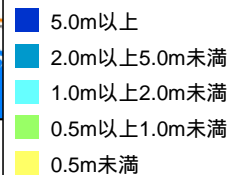
# 江東デルタ貯留型氾濫：右岸6.0～10.0km

(200年に1回の確率の洪水流量の発生時の浸水想定)

- ゼロメートル地帯が浸水し、ポンプによる排水が必要。
- 江東デルタの東部で浸水深が大きくなる。

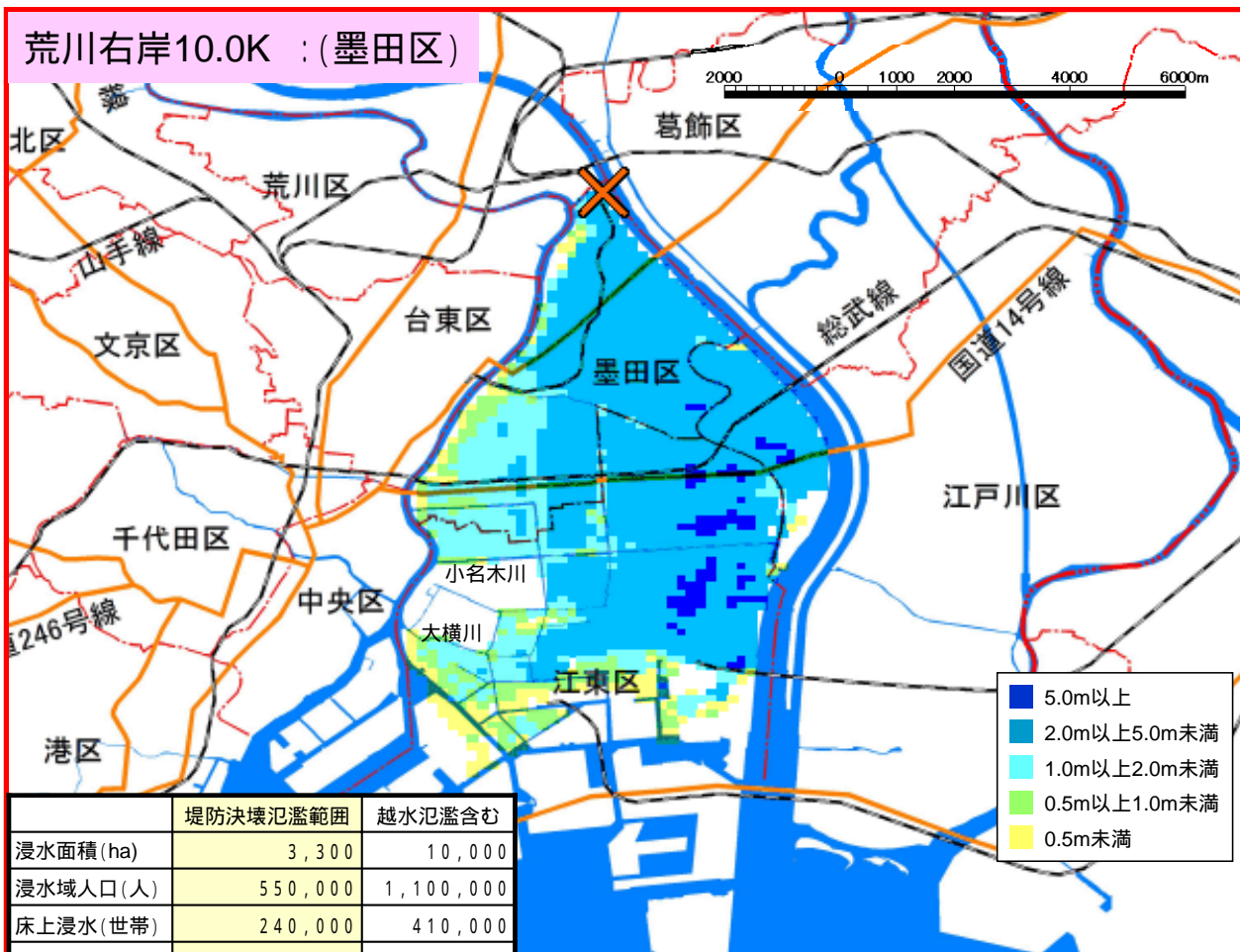


右岸8.0k(墨田区)



	堤防決壊氾濫範囲	越水氾濫含む
浸水面積 (ha)	2,700	9,800
浸水域人口 (人)	470,000	1,100,000
床上浸水 (世帯)	190,000	360,000
床下浸水 (世帯)	14,000	84,000

堤防決壊氾濫範囲：堤防決壊による氾濫の影響を受ける範囲



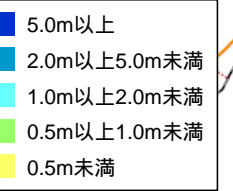
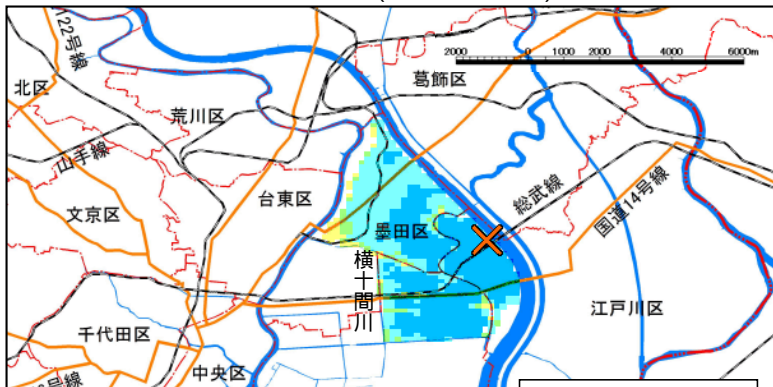
荒川右岸10.0K :(墨田区)



	堤防決壊氾濫範囲	越水氾濫含む
浸水面積 (ha)	3,300	10,000
浸水域人口 (人)	550,000	1,100,000
床上浸水 (世帯)	240,000	410,000
床下浸水 (世帯)	4,700	75,000

下流区間については、堤防が概ね完成していることから、浸水域人口が大きくなることが想定される3地点の堤防決壊箇所を設定。その内、浸水面積及び浸水域人口が最大となる浸水想定を選択。

右岸6.0k(江戸川区)



	堤防決壊氾濫範囲	越水氾濫含む
浸水面積 (ha)	1,500	8,600
浸水域人口 (人)	260,000	840,000
床上浸水 (世帯)	110,000	280,000
床下浸水 (世帯)	2,800	73,000

江東デルタの小名木川、大横川等の中小河川の堤防・護岸が、氾濫流によって決壊しない場合の浸水状況を示している。これらの中小河川の堤防・護岸が決壊した場合には、この図において浸水していない地域も浸水する可能性がある。

注)

- 中小河川の堤防がはん濫水等によって決壊しない場合の計算結果を示した。
- 中小河川の堤防は、モデル上、連続した壁状の構造物とした。
- 中小河川の流域からの出水等も考えられることから、大河川のはん濫水については中小河川の河道を通じた排水を評価していない。
- 東京都区部、埼玉県東南部の地盤高は数値地図5mメッシュ(国土地理院)、その他の地域は、1/2,500国土基本図(各市区町村)を用いて設定